

PPP/PFI推進タスクフォース全体会合 第2回議事録

内閣府民間資金等活用事業推進室

PPP/PFI推進タスクフォース全体会合（第2回）
議事次第

日 時：平成28年5月16日（月）16:29～16:41

場 所：合同庁舎8号館8階特別大会議室

1. 開 会

議長挨拶

2. 議 事

PPP/PFI推進アクションプランについて

3. 閉 会

議長代理挨拶

○議長補佐 それでは、ただいまから第2回「PPP/PFI推進タスクフォース全体会合」を開催したいと思います。

本日は、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

本日の進行は、私、内閣府大臣官房審議官の鳥巢が務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

それでは、議事に入る前に、議長である和泉内閣総理大臣補佐官から御挨拶をいただきたいと思ひます。

○議長 お忙しい中、ありがとうございます。

1月のタスクフォース設置以来、福田補佐官のリーダーシップの下で、重点分野ごとの個別会合を精力的に開催してもらいました。そして、重点分野の拡充などの成果を上げてもらったわけでございます。

また、事業規模目標を拡充した新たな「PPP/PFI推進アクションプラン案」も、皆様の御協力により、18日にも策定される見込みです。

今回のアクションプランの特色は、これまでの取組状況をフォローアップすることによって、新たな事業規模目標を定める。それが1点であります。2点目は、コンセッション事業等の重点分野に文教施設あるいは公営住宅といったものを追加する。3点目が、事業規模目標達成に向けた具体的な施策を拡充するとともに、各施策の時間軸を定めて、担当府省も明確化することによって、きちんとPDCAサイクルを強化する。こういった柱であります。

そして、事業規模目標の達成に向けては、具体的な施策が重要で、1つはコンセッション事業の推進。これが一番の目玉になるかなと。そして、諮問会議等でも議論されていますが、人口20万人以上の地方公共団体においてモデル的に率先してPFIに取り組んでもらいたい。これが2点目です。3点目が、地域のPPP/PFI力の強化。これは言うなれば、従来あまりやったことのないことについて、やはり役所はどうしても後ろ向きになるので、いいモデル事例を横展開する等々を通じて、そんなに難しい話ではないのだということに慣れていただくことも大事だと思ひています。そういった3点が柱になると思ひます。

今後は、これらの施策を担う関係府省の皆さんが本当にこのPPP/PFIを進めようと思ひていただけるかどうか大きなポイントでございますので、今日はそういったことを踏まえて議論をさせていただきたいと思ひています。

よろしくお願いたします。

○議長補佐 ありがとうございます。

それでは、本日の議事に入らせていただきたいと思ひます。

議題の「PPP/PFI推進アクションプラン」につきまして、内閣府PFI推進室から概要の御説明をお願いします。

○内閣府民間資金等活用事業推進室 御説明させていただきます。資料1-3をご覧ください。「PPP/PFI推進アクションプラン（案）（概要）」でございます。

「改定のポイント」は、繰り返しになりますけれども、平成25年度、平成26年度のPPP/PFIの実績をフォローアップし、今回新たな事業規模目標を設定しております。特にコンセッション事業等の重点分野につきましては、文教施設、公営住宅を新たに追加しているところでございます。さらに来年度以降、きちんとPDCAサイクルを回していくために、担当省庁等を明確にさせていただいているというのが改定のポイントでございます。

続きまして「事業規模目標」について御説明させていただきます。平成25年度から平成34年度の10年間で21兆円というのが新たな事業規模目標でございます。期間は変わらないのですけれども、現行目標の10～12兆円から21兆円に変更したということでございます。内訳につきましては、コンセッション事業が7兆円、収益型事業が5兆円、公的不動産利活用事業が4兆円、その他の事業が5兆円という内訳になっております。

この21兆円の事業規模目標を達成するために、PPP/PFIを推進する3つの大きな柱がございます。それが中段に書かれている「（1）コンセッション事業の推進」「（2）実効ある優先的検討の推進」「（3）地域のPPP/PFI力の強化」。この3点でございます。

「（1）コンセッション事業の推進」につきましては、この3年間の集中強化期間の重点分野及び目標を既に設定しております。下の矢印で見ていただきたいのですけれども、空港6件、水道6件、下水道6件、道路1件。これを平成26年度から平成28年度に達成するために取り組んでいる施策を書かせていただいております。

さらに、将来的にコンセッション事業に発展し得る収益型事業につきましても、181ある人口20万人以上の地方公共団体で実施を目指すということを掲げております。

「（2）実効ある優先的検討の推進」の部分でございますが、KPIで平成28年度末までに、全ての人口20万人以上の地方公共団体等において優先的検討規程を策定することを目標としております。

一方で、公的不動産利活用事業につきましても、人口20万人以上の地方公共団体で平均2件程度の実施を目指すという形で2番目の施策を実施していきたいと考えております。

（3）は、地域プラットフォームの活用、それから、PFI推進機構の資金供給機能等を活用して案件形成を目指すというのが（3）でございます。

先ほど冒頭に申しましたとおり、今回、コンセッション事業等の重点分野に文教施設と公営住宅を追加しております。それが矢印のところの先にある赤字でございます。期間は平成28年度から平成30年度ということで、今年度が初年度なのですけれども、文教施設につきましては3件のコンセッション事業、公営住宅につきましてはコンセッション事業のほか、収益型事業、公的不動産利活用事業も含むという形で6件という目標を掲げさせていただいております。

冒頭申しましたとおり、これらの施策につきましては毎年度のフォローアップを実施していきたいと考えている次第でございます。

結果といたしまして、新たなビジネス機会の拡大、地域経済好循環の実現、公的負担の抑制を目指していきたいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。

○議長補佐 ありがとうございます。

それでは、本アクションプランにつきまして、関係省庁の皆様から御発言がございましたらお願いしたいと思います。いかがでございますでしょうか。

○議長 新たにコンセッション対象に加わった文部科学省と国交省住宅局、決意表明をどうぞ。

○文部科学省 このたび、コンセッション事業の中に入れていただきます文部科学省でございます。

今まで内閣府の皆様からいろいろ御指導を頂戴しまして、何とかスポーツ施設、文化施設、それから、社会教育施設、いわゆる博物館・美術館等でございますが、これらの分野を中心に3件を何とか物にしたいと考えております。そのときも説明申し上げましたけれども、まだまだ教育委員会のほうもよくわからないというのが実情かと思っておりますので、ぜひいいお知恵を頂戴したいというのと、我々もいい知恵を探していきたい。いいものを探して、地域への普及・発展できるように、いい種をつくりたいと考えております。

今月の下旬にも早速、このコンセッションの有識者会議を開きますので、またどうか引き続き、皆様よろしく願いいたします。

以上でございます。

○国土交通省住宅総合整備課 公営住宅の分野につきましては、タスクフォースの個別会合、あるいはその後、点検会合のほうでも御報告させていただきましたとおり、御報告させていただいた2件を含め6件という目標設定をさせていただきました。コンセッション自体はなかなか難しいのではないかとすることはこれまでもご説明しておりますが、検討課題としては調査検討を引き続きさせていただきますが、ここに書かせていただいたような公的不動産利活用事業等の形で、目標設定した6件を達成するべく頑張りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長補佐 ありがとうございます。

それでは、集中強化期間の取組方針の重点分野として19事業が掲げられておるわけでございますけれども、いわゆる第1期生は今年度が最終年度ということになっておりまして、その中で特に進捗になお課題を有する水道、下水道、もしよろしければ、それぞれ、今年1年、ラストスパートで取り組む意気込みをちょっと述べていただければと思います。

まず、厚生労働省の水道課のほうからよろしく願いします。

○厚生労働省水道課 水道課です。

私どももコンセッションの採択に向けて、関係審議官あるいはもう少し上も含めて個別にセールスに歩いて、何とか案件形成に向けて努力をしておりますところでもあります。

御承知のように、大阪市とか奈良市で若干足踏み状態のところがありますけれども、それはまたさらに後ろからサポートしていきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

○国土交通省下水道企画課 下水道でございます。

下水道は、浜松市で着実に進んでおりますけれども、大阪につきましても、ちょっと議会の関係がありますが、その熟度を高めるように支援をしてみたいと思っております。

そのほか、奈良市とか、あるいは三浦市とか、ぼつぼつ出てきていますので、今年度も地方公共団体をメンバーにする検討会を開きまして、この先導的な事例の横展開と具体的な案件形成に努めて、目標達成に向けて努力をしてみたいと思っております。

よろしく申し上げます。

○議長 そういうところで事務的に情報が上がったら、知事とか市長のところには福田補佐官に行ってもらってトップセールスをやったらいいのですよ。

○国土交通省下水道企画課 下水道につきましても、市長さんとか、あるいは下水道管理者にトップセールスしておりまして、年度内でも十数カ所実施しました。その結果、三浦市などもその気になっておりますので、今後、必要に応じて、また追加的に首長へのトップセールスを福田補佐官の御協力も得ながらやっていきたいと思っております。

○議長代理 そういう意味では、今、面的に当たってもらっていますので、熟度の高いところの最後の一押しはぜひ一緒にやらせていただければと思います。

○議長補佐 それでは、時間の都合がございますので、意見交換はこれまでとさせていただきますまして、最後に、議長代理でございます福田大臣補佐官から御挨拶をいただきたいと思っております。

○議長代理 21兆円という目標に対して、皆様の御協力もありまして、それを支えるだけの骨太の政策が積み上げられたなということで、まさにこれをどう動かしていくかというのがこれから一緒に取り組ませていただきたいポイントかと思っております。

今、議論になりました新しい分野、文教施設と公営住宅、そして、今年度ラストスパートで6件頑張る上下水道もそうですが、比較的うまくいっている空港も、逆にこれは数値目標を先頭を切って達成していただく。有料道路もそうです。そういう観点で頑張っていただきたいと思っております。

また、まだ重点分野に上がっていない省庁の皆さんも、実はいろいろ検討している中では、ほかの分野でも潜在的な案件はありそうだという雰囲気も見えてきているところもありますので、この範囲に別にこだわる必要は全然ありませんので、より多くの分野でこの数字を支えることができれば、より達成が近づくという観点では、重点分野に入っていないところも含めて、皆さんと一緒にやらせていただければと思いますし、また引き続きフォローアップということでミーティングにおつき合いいただくこともあると思いますが、おつき合いいただければと思います。

引き続き、よろしくお願いたします。

○議長補佐 ありがとうございます。

それでは、特に何もございませんでしたら、本日は以上で閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長 よろしくお願ひします。